

Vol. 65

CONTENTS

【コラム】情報処理教育委員会委員長就任の挨拶… 萩谷 昌己

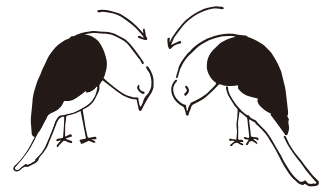
【解説】情報システムを読み解く力の育成 (1) — ISECON2015 最優秀賞を受賞して—… 田名部 元成

【解説】AOとしての情報入試の実現—その設計, 実施報告と今後の展望—… 安田 豊

COLUMN



情報処理教育委員会委員長就任の挨拶



本日(2016年8月26日)は、東京工業大学で行われた第22回スーパーコンピューティングコンテストの表彰式に招かれ、情報処理教育委員長として挨拶をして奨励賞を手渡すという仕事をして参りました。今年の6月より、前任の筧捷彦先生から引き継いで情報処理教育委員長を務めております。

6月以前も情報処理教育委員会のさまざまな活動にかかわっていましたが、その活動の範囲の広さに改めて驚いています。情報処理教育委員会は、情報教育にかかわるあらゆることから扱うことになっていますから、それは当然のことかもしれません。

たとえば、今年に入って文部科学省が小学校のプログラミング教育に関する有識者会議を立ち上げましたので、それに関する調査や各所への働きかけの活動がありました。関連して、6月7日には、情報処理教育委員会のメンバーのお力もいただき、読売新聞に「プログラミングで創造力育め」という題で「論点」を書かせていただきました。

6月25日には日本情報科教育学会の理事会・評議委員会に出席し、非公式ですが、情報科担当教員の問題について訴えました。7月22日に開催された理工系情報学科・専攻協議会では、情報科の教科調査官である鹿野利春先生の講演の後、特に教員研修への協力の重要性を訴えました。なお、情報処理教育委員会が行っている教員免許更新講習は今年も開催されています。

以上は高校の情報科に関連する活動ですが、大学の教育に関しては、標準カリキュラムJ17に向けた活動があります。これはJ07の後継として、私も策定に携わった日本学術会議による「情報学分野の参照基準」も参照しながら策定する計画です。J17策定のための作業委員会を立ち上げ、筧先生に委員長とさせていただいたところです。大学教育に関しては、ア krediteーション委員会の活動もあります。こちらについては、申し訳ありませんが、私自身はほとんどかかわっておらず、勉強中という状況です。

高校と大学をつなぐ高大接続に関する活動も顕著です。従来から情報入試委員会の活動がありましたが、文部科学省の大学入学者選抜改革の事業にも情報処理教育委員会として参画する予定です。

さらに、情報処理教育委員会のもとには技術師委員会もあり、技術者の教育に関する活動も行っています。

人工知能ブームもあり、IT人材への需要が急激に増え情報教育への期待も高まっています。微力ではありますが、担当理事を含む情報処理教育委員会のみなさまのお力のもと、情報教育に貢献して参る所存ですので、何卒よろしくお願いたします。

萩谷 昌己(東京大学)